

2021 The 7th ASPIRE URGA
Undergraduate Research Academy
Online Workshop



Schedule

[Orientation] Fri., July 2 nd , 2021	
16:00 – 16:30	Orientation Session
16:30 - 16:40	Virtual Campus Tour
16:40 - 17:00	Ice Breaking Time
[UGRA] Fri., July 9 th , 2021	
10:00 - 11:00	Special Lecture 1
11:00 - 12:00	Special Lecture 2
12:00 - 13:30	Lunch Time
13:30 - 14:00	Online Cultural Field Trip & Quiz
14:00 - 15:00	Group Presentation and Q&A Sessions
15:00 - 15:30	Award Ceremony



Fig 1 参加者のみんなと記念撮影



Fig 2 KAIST の教授と学生たち

Report of ASPIRE Student Online Workshop 2021

1. The aims and goals of the program

私がこのプログラムに参加したきっかけは、中国を含むアジア圏に興味があったからです。技術といっても、その見方は多様であり、それぞれの地域の技術の最先端を理解したいと思いました。

また、コロナ禍で、他国の学生との交流ができなくなっていたため、大学4年生のこの時期にチャレンジの意味も込めて参加しました。

2. Impressions of activities during the program

このプログラムは、大きく3部構成で成り立っています。まず、オリエンテーションでプログラム概要と3人チームを組みます。その後、一週間かけて、テーマである「**Better Living for All through Innovative Technologies**」に関連したプレゼンの準備、最後に、当日KAISTの教授の講義とプレゼン発表という流れです。

オンラインということもあり、最初はチームの中で打ち解けるのが難しいなと感じましたが、その後の準備の段階で、徐々に議論が活発になり、とても有意義な時間になりました。

ただし、僕自身は、最先端の技術と交流を主な目的として、このプログラムに参加しました。その目的を完璧に果たすことは、このプログラムでは難しかったというのが、感想です。1週間の準備期間は、とても短く、休憩の時間があり、気軽なフリートークよりも、メインの話題はプレゼンの提案内容に割くほかありませんでした。そのため、プログラム中の交流部分は、あまりなかった印象です。ただし、チーム内では、今後、僕自身が積極的に交流したいと思っています。1週間の準備期間では、僕らのチームは、3,4回のミーティングでプレゼン資料を完成させ、本番に挑みました。そのため、実際には、そこまでの時間かかっていません。



Fig 3 コロナ禍のゴミ問題について (Jaewook Myung 教授)

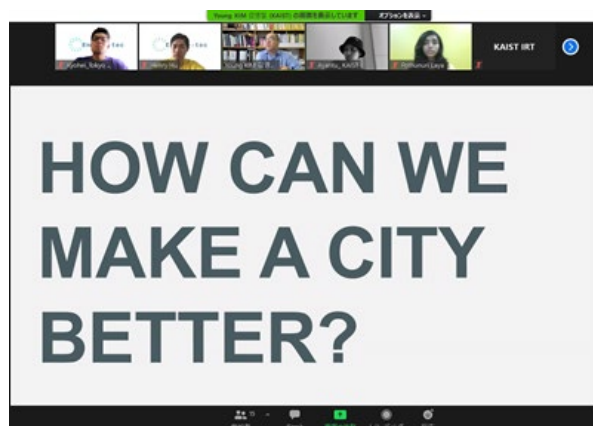


Fig 4 都市計画の最先端について (Kim, Youngchul 教授)

2日目のKAISTの教授の講義は、とても面白く、自分の研究分野とも近かったので、とても刺激的でした。特に、都市計画の教授の講義では、良い都市とは何なのかを考えさせられました。

3. Personal growth

一番大きな成長は、自分の意見をいうことです。私は、今まで自分の意見を持つことを放棄していたことを、このプログラムを通じて痛感しました。特に、チームメンバーの議論を前に進めるやり方が、とても上手く英語でのディスカッションを初めて体感しました。

また、教授の講義後、一回は必ずなんでも良いから質問しようと思って講義を聞いていました。実際に講義後、質問することができ、他の参加者は、質問せずに講義が終了したので、自分の中では、少し成長したと感じました。

プレゼンでは、プレゼン後の質疑応答や発表中のフォローなど貢献することができず、とても悔しい気持ちになりました。今後の課題と思っています。

4. Costs of the program

このプログラムは、無料で参加できます。また、時間についても、大学4年生の私でさえ、うまく時間を調整して参加できました。KAISTの事務局の方から、参加記念品としてKAISTのバッグとTシャツをいただきました。

5. For the future

今後は、一緒にチームになったメンバーと、いつか現地に行ったときに（香港とシンガポール）会って話したいと思っています。whatsappというアプリで、プログラム終了後でもやり取りをしています。コロナ禍で、他国の友達ができしたのは、とてもありがたい経験です。

6. Any recommendation to the program

このプログラムは、スケジュールの通り、2日間のオフィシャルなイベントと、プレゼン準備期間の1週間というプログラムです。そのため、他の留学関連のプログラムよりはハードルが低く、いつか留学したいと考えている人にとっては、参加しやすいのではないのでしょうか。

また、他の大学の教授の講義が聞けることも魅力の一つだと思います。他の国の方との交流を目的としている場合は、やはり対面のプログラムの方が魅力的かなと個人的には感じました。